



令和3年度第2回高松市立病院を良くする会

日時：令和3年11月9日（火） 午後3時から

次 第

- 1 開 会
- 2 病院事業管理者挨拶
- 3 議 事
 - (1) 高松市病院事業経営健全化計画（令和2年度実績）に係る総括評価について
 - (2) 次期経営健全化計画の策定について
- 4 閉 会

高松市立病院を良くする会設置要綱

(設置)

第1条 医療の質、透明性及び効率性の向上並びに病院事業の経営健全化を図ることにより、市民を支え、市民のための病院の実現に資することを目的として、高松市立病院を良くする会（以下「良くする会」という。）を設置する。

(職務)

第2条 良くする会は、病院事業の次に掲げる事項について、必要な提言を行う。

- (1) 高松市病院事業経営健全化計画の策定、見直し及び進捗状況の評価に関すること。
- (2) 高松市立病院の経営の改善に関すること。
- (3) 市民のための病院の実現に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 良くする会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、病院事業管理者が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 医療関係者
- (3) その他病院事業管理者が必要と認める者

3 委員の任期は、原則として2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任することができる。

(会長及び副会長)

第4条 良くする会に会長及び副会長をそれぞれ1人置き、会長は委員の互選により定め、副会長は委員のうちから会長が指名する。

2 会長は、会務を総理し、良くする会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 良くする会の会議は、会長が招集し、会長は会議の議長となる。

2 良くする会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第6条 良くする会の庶務は、病院局みんなの病院事務局経営企画課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、良くする会の運営に関し必要な事項は、良くする会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成23年6月1日から施行する。

附 則

高松市立病院を良くする会設置要綱の一部を改正する要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

高松市立病院を良くする会設置要綱の一部を改正する要綱は、平成30年9月1日から施行する。

高松市立病院を良くする会委員名簿

職名	氏名	役職等
会長	谷田 一久	株式会社ホスピタルマネジメント研究所 代表
副会長	伊藤 輝一	一般社団法人高松市医師会 会長
委員	安藤 幸代	公益社団法人香川県看護協会 会長
委員	門脇 則光	国立大学法人 香川大学医学部附属病院 病院長
委員	二島 多恵	公募委員 香川がん患者おしゃべり会 代表
委員	藤田 徳子	株式会社 フェアリー・テイル 代表取締役
委員	吉田 静子	高松市婦人団体連絡協議会 副会長
委員	和田 頼知	和田公認会計士事務所 公認会計士

(敬称略 五十音順)

『高松市病院事業経営健全化計画(平成30年度～令和2年度)』の取組状況 に係る高松市立病院を良くする会の評価結果報告書【令和2年度の評価】(案)

令和3年11月9日
高松市立病院を良くする会
会長 谷田 一久

1 高松市立病院を良くする会

高松市立病院を良くする会は、医療の質・透明性及び効率性の向上並びに病院事業の経営健全化を図ることにより、市民を支え、市民のための病院の実現に資することを目的として、主に「高松市病院事業経営健全化計画」（以下「経営健全化計画」という。）の策定、見直し及び進捗状況の評価を行う外部評価組織として平成23年6月に設置され、今年で11年目を迎える。

今般、令和2年度の経営健全化計画の取組状況の評価を、次のとおり取りまとめたので報告する。

2 評価結果の総括

平成30年3月に策定した第3次経営健全化計画（平成30年度～令和2年度）において、高松市立病院の基本理念『生きる力を応援します』を定め、その実現に向けて、開院3年目を迎えた「みんなの病院」では、「急性期病院としての医療機能の充実」を、塩江分院は「地域まるごと医療の実践」を基本的な考え方として、公営企業として求められる「医療の質・透明性・効率性」の向上に取り組んでいる。

今回の評価対象となる令和2年度は、評価項目26項目中、21項目が「順調」又は「概ね順調」という結果になっており、一定の成果は認められた。みんなの病院においては、新型コロナウイルス感染症の影響による患者の受診控え等により、患者数は減少したものの、効率的な病床管理の徹底等による、診療単価の上昇で、減収額を抑制できたことなどにより、新型コロナウイルス感染症による影響を加味した当初の想定より、良好な結果となっている。しかしながら、病院整備に係る企業債の償還に加え、3年度からは一般会計からの長期借入金の償還が開始することから、引き続き、厳しい経営状況が続くものと見込んでおり、病院事業が将来にわたって持続可能となるよう、より実効性のある取組を推進することが何より重要である。

地域に必要な医療を継続して提供していくためには、新型コロナウイルス感染症への対応や、感染対策の下での医療提供体制の確保など、喫緊の課題に取り組みつつ、良質な医療の提供と、継続的に安定した病院経営に全力で取り組むことが必要である。これまでの取組を改めて評価・検討し、「市民に信頼され、市民から選ばれる病院」となるよう期待したい。

3 評価結果

(1) 評価基準

経営健全化計画に基づき、令和2年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行った。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり順調である。	目標を達成した、又は目標達成と同程度の具体的成果が得られた。
○	概ね順調である。	目標達成のための取組を進め、年度末(一定期間経過後)に、目標達成と同程度の具体的成果が得られることが見込まれる。
△	やや遅れている。	目標達成のための取組が不十分又は、取組を進めるものの、年度末(一定期間経過後)に、成果が得られる見込みが少ない。
×	かなり遅れている。	消極的又は、目標達成のための取組ができていない。

(2) 病院・診療所の評価結果

① みんなの病院

経営健全化計画に係る取組状況については、13項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は4項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は9項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目及び『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で100%となった。

全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

新型コロナウイルス感染症への対応や、感染対策の下での医療提供体制の確保など、喫緊の課題に取り組みつつも、「がん医療」、「救急医療」などの急性期医療に加え、「地域包括ケア等の後方支援機能の強化」にも努めており、一定の評価ができる。特に周辺医療機関等との地域医療連携の強化については、十分な取組が行われている。

今後も、引き続き良質な医療の提供と、継続的に安定した病院経営に努められたい。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	R2	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	4項目	31%
評価結果『○』とした項目	9項目	69%
評価結果『△』とした項目	0項目	—
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	13項目	100%

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	R2 総括 評価	R元 総括 評価	H30 総括 評価
取組項目(大分類)			
取組項目(小分類)			
1 医療の質の確保に向けた取組			
1 医療技術			
1 高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	◎	◎	◎
2 医師確保機能の強化	○	○	○
3 メディカルスタッフ確保機能の強化	○	○	○
4 医療安全の強化	○	○	○
5 医療品質の向上	○	○	◎
6 災害医療機能の強化			○
2 人間関係			
1 チーム医療体制の充実	◎	○	○
2 市民との信頼関係の強化	○	○	○
3 アメニティ			
1 患者の視点に立ったサービスの提供	○	○	○
4 地域社会			
1 地域医療連携の強化	◎	◎	○
2 医療の透明性の確保に向けた取組			
1 情報発信			
1 情報発信	◎	○	◎
3 医療の効率性の確保に向けた取組			
1 効率化			
1 効率化の推進	○	○	○
2 管理体制			
1 管理体制の強化	○	○	○
3 一体化			
1 一体化の推進	○	○	○

総合評価	○	○	○
------	---	---	---

具体的施策 取組項目(大分類) 取組項目(小分類)	取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	R3.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	委員意見等
医療の質の確保に向けた取組							
医療技術							
1 高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	(1) 救急医療の強化	ア 救急患者の受入れ ○救急車搬送受入件数	◎	◎	救急医療の強化について、コロナ禍にも関わらず、救急車の要請件数、受入件数ともに大幅に伸びており、順調と言える。また、新型コロナウイルス感染症治療に関し、貢献されたことを評価する。 がん診療の強化についてもコロナ禍でありながら、積極的な取り組みがなされている。地域包括ケアへの対応については、地域包括ケア病床の稼働率を上げることを目標に取り組まれた。	◎5 ◎3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にも関わらず、救急要請、搬送率が上昇し、高松市民の病院として頑張っている。 ・がん患者の立場に立った診療機能の強化を目指してほしい。 ・コロナ禍の一年を通じて、コロナ感染した市民への対応は医師会、看護協会、大学病院からも高い評価がなされていることが確認され、市全体の医療提供体制において重要な役割を果たしたものと高く評価しました。 ・コロナ禍でも頑張っていると思います。 ・コロナ対応の中で、救急医療をしっかりとやられていると思います。 ・がん診療機能の強化の指標として現状でいいかを再検討したらいかがでしょうか。がんの治療患者数、担当医師数、手術件数、放射線治療件数などがんをしっかりと診ていますよという指標がいいと思います。 ・地域包括ケア病床の稼働率75%はまだ低いと思います。90%台を目標にすべきです。 ・コロナ禍救急患者の受け入れを積極的に実施されていることを評価。 ・高松市以外ではありますが、救急車の受け入れに関する資料に香川大学医学部附属病院を入れていただくと、香川県中心部の救急状況比較ができると考えます。 ・目標である救急医療の推進とがん診療の強化は計画通り順調に推進している。新型コロナウイルス感染症対策の影響の中、救急医療の維持を行っているのは特筆すべき事と思われる。 ・がん診療の機能の強化も、新型コロナウイルス感染症の影響と思われる以外は、適切に行われている。
		○救急車受入不可率	○				
		ア 診療機能の強化 ○がん診療連携研修会開催数	◎				
		○がん診療関連研修会開催数	◎				
		イ がん化学療法に関する体制の強化 ○がん化学療法患者に対する認定資格者の介入率	◎				
		○がん化学療法に関する勉強会開催数	○				
		○ポータル管理研修受講人数	◎				
		ウ がん放射線療法に関する体制の強化 ○新規がん放射線療法患者	◎				
		エ 緩和ケアの提供体制の強化 ○緩和ケアチームの介入患者数	△				
		○緩和ケア研修修了の医師累計数	◎				
		○がんのリハビリテーション研修受講生累計数	◎				
		オ 地域を含めたがん患者及び家族への支援 ○がん患者と家族への相談支援件数	◎				
		○がん患者等との交流数	△				
		○がん相談員基礎研修(2)修了者累計数	○				
		(3) 地域包括ケアへの対応	○病床稼働率				
2 医師確保機能の強化	(1) 医師確保のための工夫強化	○医師増加数	◎	○	医師確保は順調であり、取り組みについては評価できる。今後も、実習生受入や病院見学など、医師確保に向けて工夫し、引き続き医師確保機能の強化に努められたい。	◎1 ◎7	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に医療のマンパワーの大切さを痛感している。医師の増加のための工夫を是非お願いします。 ・こういうときにこそ、若い世代の医師の関心を惹くことができなかったのか。市民病院全体で取り組んできたことを次の世代に伝えてほしいと思います。 ・説明会開催が困難であることは理解できます。 ・医師3名、実習生10名は目標を超えている。 ・医師事務作業補助者は目標どおりなので、○にしています。 ・医師3名増員され医療機能強化がされたことを評価。 ・医師確保は計画通り順調に推進しているが、新型コロナウイルス感染症の影響の中、実習生受入や病院見学などに工夫が必要である。
		○病院実習生受入人数	○				
		○病院見学生受入人数	△				
	(2) 医師研修プログラムの充実等	○臨床研修医(基幹型)受入人数	△				
		○説明会でのみんなの病院への参加学生数	△				
	(3) 医師事務作業補助者の活用	○医師事務作業補助体制加算	◎				

具体的施策 取組項目(大分類) 取組項目(小分類)	取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	R3.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	委員意見等
医療の質の確保に向けた取組							
医療技術							
3 メディカルスタッフ 確保と機能強化	(1) 看護局	○認定資格等の取得者数	△	○	メディカルスタッフの確保と機能強化について、概ね順調である。引き続きメディカルスタッフのレベルアップに努めること。看護局の離職については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものと推察するが、今後、対策を検討されたい。	◎2 ◎6	<ul style="list-style-type: none"> ・メディカルスタッフのスキルアップは市民の信頼を得る重要ポイントです。患者と向き合う機会が最も多いスタッフだと思えます。 ・看護師をはじめとする医療職の多くの方が一年間コロナ対策に注力されたことで、病院全体の機能強化がなされたものと拝察します。 ・看護部門の離職率が想定より高くなったことについては、コロナ禍における特殊事情もあろうかと思いますが、新人看護師の離職については残念であり、対策をお願いします。 ・若い人との人間関係構築、工夫して頑張ってください。 ・認定資格が未達であったことはコロナ禍のため、仕方がない。 ・看護師の離職率10%は問題です。 ・各科資格取得を積極的にしていることを評価。看護局の1人の資格は何か記述していただけるとわかりやすい。 ・コロナ禍に実習生を受け入れ、次世代を育成していることを評価。 ・看護職の離職については様々な理由があり、みんなの病院だけの課題ではありません。看護協会が提案している「就業が可能な看護職の働き方」などを参考に、一緒に考えていきたいと思えます。 ・看護局を除いてメディカルスタッフの確保と機能強化に関しては、新型コロナウイルス感染症対策の中、計画通り順調に強化している。看護局に関しては、新型コロナウイルス感染症対策の影響を強く受けた結果と思われ、他病院でも同様と考えられる。
		○研修実習生	○				
	○離職率	△					
	(2) 薬剤局	○認定資格等の取得者累計数	◎				
		○実務実習生	◎				
		○早期体験学習生	○				
	(3) 検査技術科	○認定資格等の取得者累計数	△				
		○見学実習生	◎				
	(4) 放射線技術科	○認定資格等の取得者累計数	◎				
		○研修実習生	◎				
		○院外研修参加数	△				
	(5) リハビリテーション技術科	○認定資格等の取得者累計数	◎				
		○研修実習生	○				
	(6) 臨床工学科	○研修実習生	◎				
(7) 栄養科		○認定資格等の取得累計数	◎				
	4 医療安全の強化	(1) 医療安全意識の共有と醸成	○ヒヤリハット報告会開催数	○	○	医療安全の強化について、様々な取り組みをされていることを評価するが、針刺事故を減少させるために対策が必要である。また、コロナ禍において、感染症管理については、さらに高い意識を持って取り組むこと。	◎2 ◎5 △1
○安全管理研修(全体研修)の開催数			◎				
○放射線関係医療安全取扱研修開催数			◎				
○医療安全に係るラウンド実施数			◎				
(2) 感染管理意識の共有と醸成		○感染管理研修会(全体研修)のテーマ別開催数	◎				
		○針刺事故件数	△				
5 医療品質の向上	(1) 品質の向上及び他病院との比較	日本病院会の「QIプロジェクト」及び全国自治体病院協議会の「医療の質の評価・公表等の推進事業」へ参加し、医療品質の向上に寄与する。	○	○	診療の質の確保に努められていることを評価するが、PET-CTの検査数が依然低いため、稼働率向上に努められたい。	◎8	<ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテパスの拡充を期待している。 ・高度医療機器の活用については、コロナ対策に注力するにあたり、紹介を促進するには感染リスクへの懸念はさけられないものであったと推察します。 ・PET-CTドック健診の宣伝を上手にしてください。 ・がんの機能強化の方針であるにも関わらず、PET-CTの稼働率が低い。健康診断の一つとしてPET-CT検査の普及を促進する広報が必要。 ・QIプロジェクト等医療の質向上に努めていることを評価。他の施設との比較でみんなの病院の状況を分析した結果があれば教えてほしい。 ・クリニカルパスの使用数が増加し、計画通り順調に経過しているが、PET-CTの活用のための対策が必要である。
		(2) クリニカルパスの拡充	○クリニカルパス新規開発件数				
	○クリニカルパス使用件数(電子カルテパスのみ)		◎				
	(3) 高度医療機器の活用		○PET-CT検査件数				
		○新規がん放射線療法患者数(再掲)					
6 災害医療機能の強化	(1) 病院災害対策委員会の活動	○災害拠点病院の指定					

具体的施策 取組項目(大分類) 取組項目(小分類)	取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	R3.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	委員意見等
人間関係							
1 チーム医療体制の充実	(1) 医療安全対策チーム	○心電図モニター、ポンプ取扱い勉強会開催数	◎	◎	チーム活動が積極的に実施されていることを評価する。今後、より一層チーム間の連携、チーム活動の強化に取り組まれない。	◎6 ◎2	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策、大変ですが院内感染対策頑張ってください。 ・問題なし。 ・コロナ禍、各チームが工夫して活動されていることを評価。 ・チーム医療体制の充実は概ね順調であるが、昨年と同様、皮膚排泄ケア認定資格取得者の確保が必要であり、褥瘡対策チーム、緩和ケアチーム、排泄ケアチーム、摂食嚥下チーム等の充実が望まれる。
		○ラウンド件数	◎				
	(2) 院内感染対策チーム	○院内感染対策ラウンド回数	○				
	(3) 栄養サポートチーム	・患者の栄養状態の評価を始め、摂食状況の調査、適切な栄養療法の実施、嚥下機能の評価等を通して、全身状態の改善及び合併症の予防に努める。	◎				
	(4) 呼吸療法サポートチーム	・呼吸不全患者や人工呼吸器装着患者を対象に、ベッドサイドでの観察・評価を始め、呼吸器の安全管理、使用環境の整備、廃用予防など、呼吸器からの早期離脱を目指しながら、呼吸療法における医療安全と呼吸器ケアのレベルアップを目指す。	◎				
	(5) 褥瘡対策チーム	○皮膚排泄ケア認定資格取得者累計数	△				
		○褥瘡発生率	○				
	(6) 緩和ケアチーム	○緩和ケアチームの介入患者数	△				
	(7) 糖尿病チーム	○糖尿病教室の開催回数	△				
		○糖尿病研修会の開催回数	◎				
○糖尿病療養指導を実施するスタッフの増員累計数		△					
(8) 排泄ケアチーム	○排泄自立指導実施件数	△					
(9) 摂食嚥下チーム	・食物を咀嚼、又は飲み込むことができない患者を対象に、「食べる楽しみ」を維持するために、摂食サポートや栄養状態、嚥下機能の評価に基づく治療や訓練を実施する中で、誤嚥性肺炎の発症防止と摂食機能の回復に努める。	△					
(10) 口腔ケアチーム	・口腔ケアが必要な患者を対象に、より効果的な病棟口腔ケアを実施し、患者の誤嚥性肺炎の発症防止や化学療法、放射線治療などに伴う口内炎の症状緩和を図り、早期回復を促すとともに、職員に口腔内ケア教育を実施する。	◎					
2 市民との信頼関係の強化	(1) 指導・教室の実施	○健康いき教室の開催数	○	○	患者への指導、相談事業について、コロナ禍となり開催が難しい状況であったことは理解できるが、市民への信頼関係の強化は、市民から「みんなの病院」を身近に感じてもらえる重要な取り組みとなる。今後も引き続き注力されたい。「私のカルテ」の推進について、普及が不十分である。引き続き注力されたい。	◎2 ◎6	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で毎年健康講座を開いていただいておりますが、今年はコロナの為に中止になりました。来年も希望したいと思っております。よろしくお願い致します。 ・配布率向上に努力してください。 ・コロナのために中止された教室が多く、これは仕方ない。 ・全退院患者に占める、支援を受けた退院患者数を知りたい。 ・「私のカルテ」の普及が進んでいない。何が原因か、記述からは読み取れない。 ・市民との信頼関係の強化も概ね順調である。ただ、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、今後の対応が必要である。 ・「私のカルテ」の普及は廃止したのでしょうか？それともコロナ禍でそれどころではないという事情でしょうか？確かにデジタル化が加速する中、紙媒体の普及は今後検討するべきかもしれません。
		○やさしく学べる健康講座	△				
		○糖尿病教室の開催数(再掲)	△				
	(2) 相談事業の充実	○医療福祉相談件数	◎				
		○施設・設備相談、その他件数	◎				
	(3) 「私のカルテ」の推進	○入院患者の利用者数	△				
		○入院患者への配布率	△				
		○新規外来患者への配布率	△				
(4) 退院支援の充実	○退院調整を要する患者等への実施率	◎					

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	R3.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	委員意見等
取組項目(大分類)	取組項目(小分類)							
医療の質の確保に向けた取組								
アメニティ								
1	患者の視点に 立ったサービスの 提供	(1) 患者満足度調査の実施	○入院患者満足度	◎	○	患者満足度は好調を維持できており、評価できるが、依然、待ち時間については不満の声が多い。今後、待ち時間短縮に向けて対策を検討されたい。	◎3 ◎5	<ul style="list-style-type: none"> ・予約患者の待ち時間、セカンドオピニオンのサービス拡充等は病院への患者の信頼につながる。 ・「来てよかった」と思える病院であってほしい。 ・待ち時間短縮には引き続き努力してください。 ・先日、知人の母が転倒し、救急車でみんなの病院に休日搬送されました。骨折もなく入院せず帰宅しましたが、痛みがひどいため、翌日、みんなの病院の整形外科を受診しました。前日のCTを再確認してもらったためです。電話で待ち時間は分からないといわれましたが、受診しました。午前8時30分に出発し午後4時にやっと受診できました。患者は痛みがひどく疲れ果てていました。待つことは仕方ありませんが、他院では、受診の30分前くらいに携帯に連絡してくれるところもあります。そのような方法は無いのでしょうか。 ・85%以上の患者が30分以上診療待ちの解消に努力してください。また、患者が待ち時間を長いと感じないような工夫もしてください。 ・患者さんからの満足度が高く信頼されている状況がわかる。 ・待ち時間の課題は引き続き検討改善してほしい。 ・患者の視点に立ったサービスの提供に関しては、入院患者満足度は年々向上しており、計画通り順調である。
			○外来患者満足度	◎				
		(2) 待ち時間短縮及び接遇改善	ア 待ち時間の短縮	△				
			○予約患者の待ち時間(30分以内)の割合	◎				
		(3) 外来でのサービス拡充	イ 接遇改善の取組み及びクレーン対応能力の向上	◎				
			○院内での接遇研修会の開催数	◎				
		(4) 病棟でのサービス拡充	○セカンドオピニオン受入件数	○				
			○セカンドオピニオン診療情報提供件数	◎				
			ア 効率的な病床管理	◎				
			イ 病棟薬剤業務・服薬指導業務の充実	○				
○服薬指導率	◎							
ウ 摂食不良患者への支援	◎							
○病棟訪問件数	◎							
エ 地域包括ケア病棟におけるリハビリの実施及び支援	◎							
オ 転倒・転落防止対策への取組	◎							
○医師及びコ・メディカルとの院内ラウンド回数	◎							
地域社会								
1	地域医療連携の 強化	(1) 地域医療連携セミナー等の開催	○地域医療連携セミナー開催数	◎	◎	地域医療連携の強化について、概ね順調である。引き続き維持できるよう取り組まれたい。	◎5 ◎3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携に「みんなの病院」が大切な役目を果たしている。 ・地域連携に一層注力してください。 ・地域医療連携に関しては、保険薬局との連携強化を除き、計画通り順調である。保険薬局との連携強化については、新型コロナウイルス感染症対策の影響と思われる。
			○地域医療連携カンファレンスの開催数	◎				
		(2) 重点エリアの連携体制の強化	○地域医療機関等訪問件数	◎				
			○返書率	○				
		(3) 初診連絡の徹底、紹介・逆紹介に関する連携体制の強化	○紹介率	◎				
			○逆紹介率	◎				
		(4) 地域連携クリニカルパスの積極的な活用	○地域連携クリニカルパス活用件数	◎				
○シームレスケア研修会参加者数	○							
(5) 保険薬局との連携強化	○保険薬局との意見交換会開催数	△						
医療の透明性の確保に向けた取組								
情報発信								
1	情報発信	(1) 医療事故等の公表	○高松市病院局医療安全評価委員会開催数	◎	◎	情報発信について、計画通り順調である。今後も継続して取り組まれたい。	◎5 ◎3	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン会議、ホームページ等、外部への公開を積極的に行っている。 ・「市政出前ふれあいトーク」は婦人会、健康委員会等で毎年企画しています。 ・発信後の受診状況の改善にも評価の手を入れてください。 ・ふれあいトークに関して、参加者数や回数の情報がほしい。 ・市民病院としてのコンプライアンスにのっとった情報の公開を今後も継続してほしい。 ・情報発信は計画通り順調である。今後、新型コロナウイルス感染症対策が長期化した時の対策が必要と思われる。 ・サイトの更新やSNS発信などは非常に充実したと思います。
		(2) 病院事業経営状況の公開	・ホームページを活用し、経営健全化計画及び計画に 記載した取組の進捗状況、自己評価、それらに対する 外部評価、さらには、病院事業の各年度の予算・決算 の概要や収益的収支の年度推移等について、よりわ かりやすく情報提供できるよう工夫し、経営状況を公開 する。	○				
		(3) 市政出前ふれあいトークへの参加	・希望に応じて、実施する市政出前ふれあいトークに、 医師・看護師等が出向き、疾病予防のための健康講座 や当院の診療内容等について情報発信を行う。	◎				
		(4) 病院広報の拡充	ア ホームページの充実及びメンテナンス	○				
		イ 「地域医療連携だより」及び「医師紹介パンフレット」 の発行	◎					
		○地域医療連携だより発行回数	◎					
		○医師紹介パンフレット発行回数	◎					

具体的施策		取組項目における 具体的実施内容	取組内容	R3.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	委員意見等
取組項目(大分類)	取組項目(小分類)							
医療の効率性の確保に向けた取組								
効率化								
1	効率化の推進	(1) 施設基準の取得	ア がん患者指導管理業務の充実 ○がん患者指導管理料加算3算定件数	◎	○	人材配置の適正化、ジェネリック医薬品の使用促進、施設基準の取得など積極的な取り組みが評価できる。診療報酬請求額査定率については、査定率改善に向けてより一層注力すること。	◎1 ◎7	<ul style="list-style-type: none"> 適切な診療報酬は病院経営にとっては、一番大事なことです。未収金回収は色々なケースがあるので大変ですが、回収に努めてほしい。 査定率の一層の改善に努力して下さい。 職員提案が23件とあるが、少ないのではないかな。多彩な意見や現場からの改善策を出す工夫をしてください。例えば、表彰制度と組み合わせるとか。 外来化学療法室に薬剤師が常駐すれば患者指導も看護師への薬剤相談もスムーズにでき、なおかつ加算も取れ、充実した治療ができると考えます。 職員の提案の活用について、例えばどのような提案があり、それを採用し実践した結果どうなったか具体的なことがあれば示してほしい。 施設基準の取得、ジェネリック医薬品の使用状況、材料費比率、人材配置の適正化などは、計画通り順調であるが、診療報酬請求額査定には対策が必要である。
			イ 薬剤管理指導業務・病棟薬剤業務の充実 ○薬局内Dカンファレンス回数及びブレアポイド報告件数	◎				
		(2) 省エネルギー活動の推進	地球温暖化防止への対応はもとより、増え続ける高熱水費の抑制を図るとともに、リサイクル意識の醸成を促し、省エネルギー活動に積極的に取り組み、効率化の推進を図る。	○				
		(3) 適切な診療報酬の請求	○診療報酬請求額査定率	△				
		(4) ジェネリック医薬品の採用拡大	○ジェネリック医薬品使用数量率	◎				
		(5) 効率的な物品管理体制の構築及び調達方法の検討	○医薬収益に対する材料費比率	◎				
		(6) 未収金の発生防止及び回収促進	○現年度分収納率	○				
			○過年度未収金回収率	○				
(7) 業務改善に向けた積極的な取組	ア 職員提案の活用	○						
	イ 情報化の促進	○						
(8) 人材配置の適正化	適材適所の配置に努め、人材の有効活用を、より一層推進する。	◎						
管理体制								
1	管理体制の強化	(1) 病院事業の健全かつ円滑な運営	○経常収支比率	◎	○	経常収支比率について昨年度より大幅に改善しているが、新型コロナウイルス関連の補助金によるところが大きく影響している。今後、アフターコロナを見据えた経営分析が重要になる。勤務環境の改善についても計画通り順調である。	◎2 ◎6	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で大変ですが、働き方改革も大切です。 補助金に頼らない体質改善を望みます。 コロナ関連の補助金の影響で経常収支は黒字になりました。これは医療従事者が懸命にコロナ診療を行った結果です。コロナ後は過去の患者数は戻らないと考え、来期に向けた行動計画が重要です。 経常収支比率が昨年度より著明に改善しているが、新型コロナウイルス感染症対策の補助の影響と思われる。香川県の感染指定病院、重点医療機関としての使命を十分果たしていると考えられる。 勤務環境の改善も計画通り順調である。今後、アフターコロナに対する経営分析なども重要と思われる。 病院事業そのものではなく、市職員の管理運営体制に???を感じます。オンライン会議の進め方、資料の作り方(文書表現、採用画像の選定など)の向上を図ってほしいと思います。コロナ禍で医療現場が逼迫している時期だからこそ、公的医療機関として事務方の強化が非常に重要だと思います。
		(2) 就労意欲の維持・向上	・顕著な業務成績を収めている職員が更なる向上心を持って取り組めるような方策を検討する。	○				
		(3) 業務実績報告・目標発表会の開催	・診療科、各局、業務委託業者を含めた病院を構成する全組織が一同に会して、これまでの業務実績を報告するとともに当該年度の目標を発表し、異なる職種間での相互理解と相互信頼を深め、病院の円滑な運営に努める。	○				
		(4) 経営分析の実施	・近隣の市立病院間で、病院経営や経営分析に係る諸課題等についてテーマを定め、情報交換・勉強会を定期的に開催し、他病院での先進事例などを情報収集するとともに、必要に応じてフィードバックし、病院運営に生かす。	△				
		(5) 適切なDPCコーディングの実施	○DPC部位詳細不明病名使用率	◎				
		(6) 勤務環境の改善	○職員の年次有給休暇取得日数	◎				
一体化								
1	一体化の推進	(1) 市立病院間の診療面の連携・協調及び僻地医療	ア 医療局	◎	○	みんなの病院と塩江分院との連携が強化されていることを評価する。引き続き鋭意取り組まれない。	◎2 ◎6	<ul style="list-style-type: none"> 塩江分院との連携がうまく行えている。 塩江分院とより一層連携して下さい。 各部門で塩江分院と連携ができています。 市立病院間の診療面の連携・へき地医療に関しては、概ね順調である。
			イ 看護局	○				
			ウ 薬剤局	◎				
			エ 検査技術科	◎				
			オ 放射線技術科	◎				
			○塩江分院からの応援依頼件数	○				
			カ リハビリテーション技術科	○				
キ 栄養科	△							

(2) 病院・診療所の評価結果

② 塩江分院

経営健全化計画に係る取組状況については、13項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は3項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は5項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は5項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で62%となった。

全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

チームによる訪問診療や指導事業等を通じた地域医療の推進や、管理体制の強化は概ね順調であるが、一部、新型コロナウイルス感染症対策の影響を受けたと思われる。

今後は、みんなの病院の附属医療施設となる事を見据え、みんなの病院との連携を更に密にした医療を提供するなど、「地域まるごと医療」の更なる実践に努められたい。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	R2	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	3項目	24%
評価結果『○』とした項目	5項目	38%
評価結果『△』とした項目	5項目	38%
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	13項目	100%

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	R2 総括 評価	R元 総括 評価	H30 総括 評価
取組項目(大分類)			
取組項目(小分類)			
1 医療の質の確保に向けた取組			
1 医療技術			
1 地域医療の推進	△	○	○
2 医師の確保機能の強化	△	○	○
3 スペシャリストの育成	△	○	○
4 医療安全の強化	◎	○	◎
5 医療品質の向上	△	○	△
2 人間関係			
1 チーム医療体制の充実	○	○	○
2 市民との信頼関係の強化	○	△	○
3 アメニティ			
1 患者の視点に立ったサービスの提供	○	○	○
4 地域社会			
1 共に支え合う体制の整備	△	△	○
2 医療の透明性の確保に向けた取組			
1 情報発信			
1 情報発信	◎	◎	○
3 医療の効率性の確保に向けた取組			
1 効率化			
1 効率化の推進	○	○	○
2 管理体制			
1 管理体制の強化	○	△	○
3 一体化			
1 一体化の推進	◎	◎	◎

総合評価	○	○	○
------	---	---	---

具体的施策 取組項目(大分類) 取組項目(小分類)	取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	R2.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	委員意見等					
医療の質の確保に向けた取組												
医療技術												
1 地域医療の推進	(1) 訪問事業の推進	○訪問診療件数	△	△	訪問事業の推進について、新型コロナウイルス感染症対策の影響を強く受けたことが推測されるが、高齢化で独居世帯の多い塩江地域においては、訪問事業は必要不可欠の医療体制である。今後とも対策を検討しながら引き続き注力されることを期待する。	○2 △6	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問診療、訪問歯科、訪問リハビリテーション等、自宅介護をしている者にとっては夢のような医療体制です。塩江地域の方がうらやましいです。 ・コロナ感染症への対応と人口減少という外部環境の大きな変化のなかで、地域包括ケアシステムの構築に向けて主体的に関わり続けていきたいと思います。 ・地域の問題も理解できるが、一層努力して頂きたい。 ・塩江分院の大きな機能は、訪問診療、訪問看護だと思っています。 ・人口減少や対象者の減少など課題はありますが、リハが伸びていることを考えるとまだ可能性はあるかと思えます。病院の基本方針にあるように地域まるごと医療に取り組んでほしい。 ・地域医療の推進においては、新型コロナウイルス感染症対策の影響を強く受けている。今後の対策を考える必要がある。 ・コロナ禍でなかなか難しい状況が理解できます。 					
		○訪問歯科件数	△									
		○訪問看護件数	△									
		○訪問リハビリテーション件数	◎									
	(2) 初期、回復期、慢性期医療の提供	○在宅復帰率	○									
		○入院患者への口腔ケア実施回数	△									
	(3) 地域包括ケアシステムの構築支援	○地域ケア小会議等への参加率	△									
			△									
	2 医師等の確保機能の強化	(1) 寄附講座の活用	研修会の開催数					△	△	医師等の確保機能の強化について、コロナ禍において様々な制約があったものと察するが、塩江分院は地域医療を学ぶに当たり、最適な現場であることから、今後、コロナ禍での工夫を凝らし、取組をさらに強化されることを期待する。	△8	<ul style="list-style-type: none"> ・総合医として地域医療を知るのに良い現場だと思います。是非、教育実習の受け入れを続けてほしい。 ・指標にあげている項目については、多くの制約があったものと推察しますが、コロナ禍での工夫があったのではないかと思います。 ・コロナ禍でやむを得ないと思えます。 ・様々な形で医師確保に努力していることを評価。 ・医師等の確保機能の強化においては、香川大学医学部の寄附講座と協力した学生実習などの受入など、新型コロナウイルス感染症対策の影響を強く受けている。 ・コロナ禍でなかなか難しい状況が理解できます。
			(2) 医師の育成					○研修プログラムの新メニュー追加件数				
		(3) 実習、見学等の受入れの充実						○香川大学等からの医師研修実習生受入人数				
		(4) 医師の安定確保	○非常勤嘱託医師嘱人数					○				
	3 スペシャリストの育成	(1) 資格取得	認知症ケア専門士取得者累計数					○	△	人材育成に努められていることを評価する。地域的特性を踏まえ、特定行為の行える看護師、介護支援専門員等が有効になると思われるため、引き続き継続して取り組まれない。	○3 △5	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張っていると思います。 ・認知症ケア専門士の資格取得は概ね順調である。
			介護支援専門員取得者累計数					△				
	4 医療安全の強化	(1) 医療安全意識の共有と醸成	○医療安全委員会開催数					◎	◎	医療安全の強化について、十分な取り組みをされていることを評価する。引き続き鋭意取り組まれない。	◎5 ○3	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方が多いので医療安全は何より大切です。 ・感染予防への取り組みが計画以上に実施されたことを高く評価します。 ・継続してください。 ・医療安全意識の共有と醸成に努力されていることを評価。 ・針刺事故もなく感染対策に努めていることを評価。 ・医療安全と感染制御に関しては、委員会などを定期的に開催し報告を行っており、計画通り順調である。
○安全管理研修会(全体研修)開催数			○									
○ヒヤリハット報告研修会開催数			◎									
(2) 感染管理意識の共有と醸成		○感染予防委員会の開催数	◎									
		○感染管理研修会(全体研修)開催数	○									
		○針刺事故件数	○									
5 医療品質の向上	(1) 学会や研修会での発表	○研究発表・論文発表件数	△	△	学会、研修会での発表については、概ね順調である。今後、地域包括ケアシステムの担い手としての活動を期待する。	△8	<ul style="list-style-type: none"> ・努力して下さい。 ・医療品質の向上のための学会・研修会の発表は、新型コロナウイルス感染症対策のため影響を受けている。 					
人間関係												
1 チーム医療体制の充実	(1) チーム医療の実践	ア 栄養サポートチーム	○	○	チーム医療に対する取り組みは、概ね順調であるが、今後、地域包括ケア推進チームの活動について積極的に取り組むこと。	○7 △1	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム医療体制の充実を期待しています。 ・地域包括ケア推進チームの活動が低下したことに着目した評価としました。 ・努力を続けてください。 ・目標に向けた取り組みは記述されておりよくわかる。課題はないのでしょうか？ ・チーム医療の実践は概ね順調である。今後、新型コロナウイルス感染症対策の中での充実を図る必要がある。 					
		○入院患者の経口摂取割合	○									
		イ 褥瘡対策チーム	○									
		○院内褥瘡発生件数	○									
		ウ 身体拘束廃止対策チーム	○									
		○拘束率	○									
		エ 地域包括ケア推進チーム	△									
		○地域ケア小会議等への新規提案件数	△									
		オ 摂食嚥下チーム	○									
		カ 口腔ケアチーム	○									

具体的施策 取組項目(大分類) 取組項目(小分類)	取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	R2.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	委員意見等
医療の質の確保に向けた取組							
人間関係							
2 市民との信頼関係の強化	(1) 教室・講座の実施	○出張健康講座等開催数	○	○	市民との信頼関係の強化における取組は、概ね順調であったと評価するが、「私のカルテ」の普及が遅れている。「私のカルテ」は塩江分院の医療提供において重要なものとなることから、引き続き普及促進に向けて注力すること。	○5 △3	<ul style="list-style-type: none"> ・出張健康講座や相談、指導事業等、地域の医療としてよくやれていると思います。 ・感染予防として同行者の制限が行われたものと理解します。しかし、「私のカルテ」による情報提供の進捗が遅れていることを重視した評価としました。 ・時間を作って頑張ってください。 ・チームによる訪問診療がこの病院のサービスの中心で、誇れるものであった。是非充実させてほしい。 ・市民との信頼関係の強化においては、概ね順調と思われるが、一部新型コロナウイルス感染症対策の影響を受けている。 ・「私のカルテ」、塩江分院こそ普及が急がれるのではないのでしょうか？
	(2) 相談・指導事業の拡充	ア 訪問診療、訪問看護への同行回数 ○薬剤師 ○放射線技師 ○病棟看護師 ○管理栄養士 ○歯科衛生士	△ △ ○ ○ △				
	(3) 「私のカルテ」の推進	○「私のカルテ」発行累計数	△				
	(4) 退院調整会議の充実	○退院調整を要する患者等への実施率	○				
	(5) 「ほたる通信」の発行【再掲】	情報発信1(3)参照	△				
アメニティ							
1 患者の視点に立ったサービスの提供	(1) 患者満足度調査の実施	○病棟・外来患者満足度	○	○	患者の視点に立ったサービスの提供について、積極的な活動が行われており、評価できる。今後も患者の視点に立ったサービスの継続を期待したい。	○8	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のために病院直営の運用はぜひ続けてほしい。 ・コロナ禍でも頑張ってください。 ・患者の視点に立ったサービスができていることがわかる。この地域ならではの課題を実践していることを評価。 ・患者満足度、接遇や外来、病棟でのサービス拡充などに努め、概ね順調である。病院文化祭が開催できなかったのは、新型コロナウイルス感染症対策の中、むしろ適切と思われる。
	(2) 接遇改善の取組	○接遇委員会開催数 ○接遇研修	○ ○				
	(3) 外来でのサービス拡充	ア 患者輸送車運行事業の推進 ○患者輸送車運休回数 イ 院内企画展の充実 ○院内企画展示用提供作品数 ○病院文化祭来場者数	○ ○ ○ ○ ×				
	(4) 病棟でのサービス拡充	ア 地元食材を多用した食事の提供 ○管理栄養士等病棟訪問件数 イ 病室の病床数の見直し ○検診会の実施 ウ 転倒・転落防止対策への取組 ○延べ転倒・転落回数	○ ○ ○ ○ ○				
地域社会							
1 共に支え合う体制の整備	(1) 病院・介護保険施設等との連携	○地域医療機関訪問件数	△	△	共に支え合う体制の整備について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものと理解するが、今後も継続して、地域社会との連携強化に積極的に取り組まれない。	○1 △7	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携を図るため、住民ボランティアの受入れはいい取り組みです。 ・感染予防対策として対面のイベントを制限したことを評価しました。 ・コロナ禍でも頑張ってください。 ・共に支え合う体制の整備に関しては、新型コロナウイルス感染症対策の影響を強く受けたと考えられる。今後の改善のための対策が必要である。
	(2) 地域社会との連携	○住民ボランティア受入人数 ○地元イベント参加・派遣看護師延べ人数 ○院内の企画展示用提供作品数(再掲) ○病院文化祭来場者数(再掲) アメニティ1(3)イ参照	△ △ △ △ △				
医療の透明性の確保に向けた取組							
情報発信							
1 情報発信	(1) 医療事故等の公表		◎	◎	情報発信について、適切に努められていることを評価する。今後も継続して取り組まれない。	◎6 ◎2	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加の会議や「ほたる通信」等、地域との絆がみられる。 ・情報発信・共有の努力を続けてください。 ・住民参加の経営戦略会議への住民参加者がゼロ？ ・情報発信については、計画通り順調である。
	(2) 住民参加会議の開催	○経営戦略会議平均住民参加人数	◎				
	(3) 「ほたる通信」の発行	○「ほたる通信」発行回数	◎				

具体的施策 取組項目(大分類) 取組項目(小分類)	取組項目における 具体的な実施内容	取組内容	R2.3 自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	委員意見等
医療の効率性の確保に向けた取組							
効率化							
1 効率化の推進	(1) 省エネルギー活動の推進 (2) 適切な診療報酬の請求 (3) ジェネリック医薬品の採用拡大 (4) 未収金の発生防止及び回収促進	○電力使用量対前年度削減比率 ○診療報酬請求額査定率 ○ジェネリック医薬品使用数量率 ○現年分収納率 ○過年度未収金回収率	△ ○ ○ ○ △	○	効率化の推進について、概ね順調であることを評価する一方、省エネルギー活動の推進、未収金の発生防止及び改修促進については更なる努力を期待する。	○7 △1	・分院として運営は大変ですが、効率化を推進してください。 ・通年の非常に電力使用量の適正性を評価する基準を持ち合わせていません。 ・未収金回収促進してください。 ・過年度の未収金の回収率が7.5%は過去の数値と比較して高いのか低いのかわかりません。分割してもらうなどの方法で医療のただ乗りは厳しく対応してください。 ・効率化の推進は、概ね順調であるが、省エネルギー活動にさらなる努力が必要である。
管理体制							
1 管理体制の強化	(1) 病院事業の健全かつ円滑な運営 (2) 業務実績報告・目標発表会の開催 (3) 勤務環境の改善	○業務実績報告・目標発表会職員参加率 ○対前年度時間外勤務時間縮減比率	○ △ ○	○	管理体制の強化について、概ね順調である。引き続き鋭意取り組まれない。	○7 △1	・働き方改革で職場の健全化も大切です。 ・病院の運営について職員のみならずにもっと関心をもっていただきたい。 ・引き続き時間外勤務削減に努力して下さい。 ・管理体制の強化については概ね順調であるが、一部新型コロナウイルス感染症対策の影響を受けたと思われる。
一体化							
1 一体化の推進	(1) 市立病院間の診療面の連携・協調	ア 医療局 イ 看護局 ウ 薬局 エ 医療局(検査技術) オ 放射線技術部門 カ リハビリテーション部門 キ 栄養部門	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○	◎	一本化の推進について、病院間の連携が取れていることを評価する。今後も連携を強化し、過疎地域の医療の充実に向けて努力されたい。	◎7 ○1	・みんなの病院との連携、協調を期待しています。 ・地域の為に連携を維持増強してください。 ・みんな病院との連携がされ、みんなで取り組む体制ができていることを評価。 ・市立病院間の診療面の連携・協調においては、計画通り順調である。今後、塩江分院での機能分担をすすめて、さらなる連携が必要と思われる。